

上海で「鹿児島県産品を楽しむ夕べ」を開催

平成30年12月12日

鹿児島県特産品協会上海代表処

2018年12月12日、上海総領事公邸におきまして、中国における焼酎をはじめとする鹿児島県産品のPR等を目的とした「鹿児島県産品を楽しむ夕べ」を、中国各界で情報発信力の高い参加者等28名を招待して開催しました。

当日は、片山総領事のご挨拶と中国人俳優の林棟甫氏（かごしま焼酎大使）の乾杯のご発声を皮切りに、鹿児島県酒造組合濱田会長の焼酎に関する講話や鹿児島県産焼酎の利き酒を実施して、焼酎の歴史や、麴・原材料による味の違いなど焼酎に対する理解を深めていただきました。

また、11月15日～12月14日の期間で「鹿児島美食フェア」を開催していた「上海なだ万」の本山料理長を招き、鰯、鰹など鹿児島の素材を使用した料理や、鹿児島の郷土料理をアレンジした料理を提供して、鹿児島の個性豊かな食を楽しんでいただきました。

さらに、会場内には薩摩焼や薩摩切子、薩摩錫器、大島紬などの鹿児島県産伝統工芸品を展示するなど、鹿児島の文化等に対する理解も深めていただきました。

これからも、中国における焼酎をはじめとする鹿児島県産品の認知度を向上させるために、様々な取り組みを行っていきたいと考えております。



片山総領事挨拶



林棟甫氏（かごしま焼酎大使）

乾杯挨拶



濱田会長講話



会場の様子



利き酒の様子



池田専務挨拶



伝統工芸品と利き酒に使用した焼酎の展示



鹿児島産ブリ



郷土料理をアレンジした「さっぱり酒すし」



紫芋のムースと軽養しるこ